

# 調 査 の 概 要

## Outline of survey

### 1. 調査の目的

大学図書館は、大学における教育・研究に必須の基本的施設であり、その整備・充実を図ることは教育・研究の発展のために極めて重要です。

各大学及び行政当局においては、今後とも積極的に大学図書館の改善・充実に努める必要があり、そのための基礎資料とするとともに学内外の関係者の理解と認識を深めるため、大学図書館の実情を具体的・実態的に把握する目的で調査を行ったものです。

### 2. 調査の対象

調査対象大学は、国立 99、公立 75、私立 512 の計 686 大学です。

なお、調査の単位は、国公立大学の中央図書館（本館）及び分館並びに学部、教養部、附置研究所、附属病院及び併設短期大学部（独立した図書館・室を有していない場合は関係の図書館・室に含める。）の部局図書館・室です。

### 3. 調査項目及びその構成

#### 〔1. 総括事項〕

調 査 項 目
大学規模、図書館・室数、平成 13 年度大学総経費

#### 〔2. 個別事項〕

区 分	調 査 項 目
A. 図書館・室職員数 (平成 14 年 5 月 1 日現在)	総数、職務内容別、資格別、年齢別、男女別内訳
B. 施 設 (平成 14 年 5 月 1 日現在)	総延面積、用途別面積、閲覧座席数、書架収容力
C. 蔵 書 数 (平成 13 年度末日現在)	図書、雑誌、その他
D. 図書・雑誌受入数 (平成 13 年度実績)	図書受入数、雑誌受入数

区 分	調 査 項 目
E . 視聴覚資料・機器数 (平成 13 年度末日現在)	視聴覚資料数、視聴覚機器数
F . 奉 仕 状 況 (平成 13 年度実績)	開館状況、館外貸出冊数、参考業務利用件数、文献複写件数、図書館間相互協力
G . 経 費 (平成 13 年度実績)	図書館資料費、図書館・室運営費、図書館資料費の出所別内訳、図書館・室運営費の出所別内訳
H . 外 部 委 託 業 務 (平成 13 年度実績)	業務別の外部委託状況
I . 図 書 館 の 公 開 (平成 13 年度実績)	学外者の図書館の利用状況
J . 電子図書館の機能について (平成 13 年度実績)	コンピュータの導入、端末利用目的及び台数、目録所在情報の電子化、一次情報（原文情報）の電子化、国立情報学研究所との接続、図書館から学内 LAN 上へのサービスの提供、CD-ROM によるサービスの提供、図書館のホームページの開設

調査項目の詳細については、付表 2 「平成 14 年度大学図書館実態調査票」(p68～74)を参照してください。

#### 4 . 調査の期日及び期間等

平成 14 年 4 月 30 日付け 14 文科振第 60 号「平成 14 年度大学図書館実態調査について(依頼)」で、文部科学省研究振興局長から各国公私立大学（短期大学を除く）附属図書館長に対し、平成 14 年 5 月 1 日現在で調査し 8 月 16 日までに調査票を提出するよう依頼しました。